

大切な命と  
ふるさとを守るため、  
地域で見守り  
支え、助け合う。

# 安全・安心な まちづくり

みやま暮らし

2

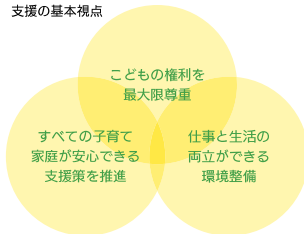
安心のサポートと  
豊かな環境の中で  
すくすくと育つ  
みやまっ子。

みやま暮らし

1

# 子育て

子ども・子育て  
支援の基本視点



市では「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、今後を担うことを地域で見守り、育てていく環境づくりと、子育て支援のさまざまな取り組みを通して、こどもがすくすくと育つまちの実現を目指し「心をつなごう！すくすく子育てみやまっ子」を基本理念に掲げています。また、すべてのこどもの健やかな育ちと、妊娠・出産期からの切れ目ない支援の充実を社会全体で推進するため取り組んでいます。

豊かな自然に囲まれ、すくすくとこどもが成長できる恵まれた環境の中、共働きの家庭を含め、すべての家庭が安心して子育てできるように、さまざまな支援が揃っています。保育料を国の定めよりも引き下げて負担を軽くし、医療費を助成するなど、家計を支える制度も充実しています。



消防署員たちは、誰もが安心して暮らせる安全なまちのために、日々訓練を行っています。

## もしもの時に備えて



### ハザードマップ

日頃から水害や災害に備えられるよう、洪水や津波、高潮、ため池ハザードマップを、紙とデジタルで作成しています。



### 自主防災組織

地域住民が自主的に防災活動を行う組織を結成。市も研修会の実施や避難所開設訓練、助成制度などの支援をしています。

## 近所にいる市民の味方「みやま市消防団」



現在、みやま市の消防団は、本部と15分団で活動しています。安全・安心なまちづくりができるよう、日頃から火災・災害に対する訓練や火災予防の広報などを行っている、緑の下の力持ちです。

## 市民みんなで 消防・防災・防犯・交通安全

安心して暮らせる、安全な地域社会づくりに取り組んでいます。

消防庁舎を拠点に、消防救急体制の充実を努め、消防通信指令の迅速化・効率化も行っていきます。

さらに、ハザードマップのデジタル化や、災害時の情報伝達手段であるコミュニティ無線の整備とSNSの活用、さらには自主防災組織による活動の推進など、防災体制の整備も進めています。

みやま市安全・安心まちづくり推進協議会を通じて、少年指導員連絡

会による防犯パトロールや、児童の安全を守るための15校区の見守り隊による登下校時の見守り活動などの自主的な活動を支援しています。

交通事故防止のため、柳川警察署による交通安全教室や、登下校時の見守り隊による交差点での交通指導を実施。みやま市通学路安全推進会議により警察や学校との合同で通学路を定期的に点検し、危険箇所の解消を図っています。

## 子ども家庭センター

子育て世代を包括的に支援する、「子ども家庭センター」を市役所内に開設。妊娠時から、こどもが18歳になるまで、一つの窓口（ワンストップ窓口）で相談や支援を行います。

## 子ども医療費 助成制度

こどもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部の助成を行っています。みやま市では、助成の対象年齢を0歳から高校3年生にまで拡充しています。

## 子育て世帯 家賃補助制度

みやま市内の民間賃貸住宅に市外から転入した子育て世帯に家賃の一部を補助しています。補助期間は最大1年間。

## おむつお届け事業

1才まで毎月1回、市の職員や子育て経験のある配達員（みやま子育てサポーター）が、ご自宅におむつなどをお届けします。



## 子育て コンシェルジュ

市役所内の子ども子育て課窓口に「子育てコンシェルジュ」を配置。教育・保育施設や子育て支援サービスなどの紹介、子育てに関する相談を受け、関係機関につなぐお手伝いをしています。

## 地域の子育て支援

こどもを預けたい会員と、手伝いをしてくれる会員とを結び、互いに助け合うファミリー・サポート・センターや、子育て親子の交流の場「つどいの広場」など、地域ぐるみで子育てを支援しています。



## 妊産婦・ 赤ちゃん訪問

赤ちゃんが生まれる家庭や、生後4カ月までの赤ちゃんのいる家庭を助産師や保健師などが無料で訪問します。体重測定や、授乳・発育・予防接種などについての相談から、子育てのアドバイス、情報提供も。



## 放課後 児童クラブ

保護者が共働きなどの理由により、放課後などに児童を保育できない留守家庭の小学生を対象に「放課後児童クラブ」を設置しています。